

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人徳力学園 山の手学院幼稚園

1. 本園の教育目標

「健康で活発な子どもの育成」・健やかな身体 ・たくましい心 ・考える力 ・豊かな感性

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

園児の安全管理に十分配慮する為、毎月の園内安全管理を実施する。

コロナにより中止していた行事の再開に向け、過去の資料の見直し/引継ぎ部分と改善部分の話し合いに取り組む。

母の会と協力し、コロナ後の幼稚園行事再開に向けた安心安全な行事の開催に努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
年間指導計画	B	「卒園までに育ってほしい10の姿」を教師一人ひとりが意識し、カリキュラムに盛り込み実践していくことができた。
教師としての資質/保育の向上	B	園内研修会を開催し、日ごろの保育の振り返りを行う。情報を教師間で共有することで、幼児理解が深まり同僚性も高めることができた。
震災対応	A	定期的に避難訓練を実施し、園児へ防災と命を守る意識を持たせる。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
A	自己評価を行い改善すべき点が見え、三つの課題について重点的に取り組むことができた。 各教師が保育の質の向上の重要性を再確認した。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
震災対策	定期的な避難訓練の実施と、消防署と連携した防災対策の取り組み。
保育の質向上	園内/外部講習会で得た知識を他の教職員と共有する時間を設ける。
安全管理	園内の事故や大きなけがを防ぐ為、園内各所の安全利用方法を指導する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

年間計画に沿って、月間行事や週間予定など定期的に配信され、かつ適正に実行されている。昨今の地震災害等による災害対策では、定期的な避難訓練がなされ、万が一の取り組みが行われている。園児降ろし忘れ対策は、第三者評価を取り入れる事で、引き続き高い意識を持って取り組んでいる。

実施日 令和6年2月吉日